



1年間、お疲れ様でした。

1日の卒業式で3年生を送り出し、学校としても、今日の終業式で区切りをつけ、新しい年度に向けた準備がはじまります。皆さんにとってこの1年は、どのような1年だったでしょうか。皆さんがこの1年間にみせてくれた明るさや成長は、とても感動的なものでした。

しかし、学年の進行とともに、皆さんが担う役割も変化していきます。2年生は最高学年として、様々な場面でリーダーシップを発揮することが求められるでしょう。1年生は、中堅として先輩を支え、後輩を育てる役割を担うこととなります。

学校としても、平成30年度は、下関北高校の1期生を迎えるなど、大きな変化の年度となります。豊北高校は、今でも十分、素晴らしい学校だと思いますが、これからますます、地域をはじめ、周囲から大きな期待の目をもってみられます。

来る新年度、それぞれの役割を果たし、多くの期待に応えることができるよう、何事にも積極的にチャレンジして、集団としても、個人としても成長して行ってほしいと願っています。

下関北高校の校歌が発表されました

校歌

作詞 白澤真史
作曲 杉山潤

一 豊かなる 緑の里に

新たなる 学び舎は立つ

くろぞん 狗留孫は 雄々しくそびえ

志 高きを 鑽う

伸びやかに 伸びやかに

歌わん友と

我らの母校 下関北

二 彼方から 打ち寄する波

太古から 生命をつなぐ

響灘 光を集め

歩むべき 道を照らして

朗らかに 朗らかに

語らん友と

我らの希望 下関北

三 先人に 感謝を抱き

夕映えに 心安らぐ

北浦の 恵みを受けて

ふるさと 故郷の 人は優しく

清らかに 清らかに

守らん友と

我らの誇り 下関北

歌詞は、平成29年11月2日～12月4日の間、公募し、響・豊北高校の教職員で構成する選考委員会を経て、県教育委員会が選定しました。

【作成者】 白澤 真史さん (55歳) 長門市在住

【応募点数 (歌詞)】 22点 (県内10点、県外12点) 応募者の年齢：13歳～82歳

【作品の意図】 全体が五七調で統一され、1番で上に「伸びる」、2番で横に「つながる」、3番で内面に「深まる」イメージが表現されており、穏やかで歌いやすい。また、「狗留孫」「響灘」「北浦」など、学校の位置する地域の特色が感じられるものとなっている。

後日分かったことですが、白澤さんは、阿川のご出身で、昭和56年3月に豊北高校を卒業された同窓生で、現在は下関市内の小学校の校長先生をお務めです。ご自身の高校生活に思いを馳しながら、その時と変わらぬ豊かな自然や後輩たちへの温かいメッセージを感じます。

作曲された杉山潤さんは、熊毛北高校の音楽の先生で、山口県交響楽団に所属しておられます。高等学校文化連盟自主事業として昨年度の9月に本校で開催した演奏会に豊北高校に来校され、その時の学校を取り巻く雰囲気や生徒の様子を思い出しながら作曲されたとのこと。温かい本校生徒に様子が伝わる穏やかな曲調だと思います。

本校Webページ(下関北高校情報)に紹介しています。是非、試聴してみてください。

山口県立下関北高等学校 校歌

作詞 白澤真史
作曲 杉山 潤

あたたかく、晴れやかに
♩ = 100



1. ゆ た か な る み ど り の さ と 一 に
2. か な た か ら う ち よ す る な 一 み
3. せ ん じ ん に か ん し ゃ を い だ 一 き



あ ら た な る ま な び や は た つ
あ い こ か ら い の ち を つ た ら ぐ
ゆ う ば え に こ こ ろ や す ら ぐ



く ろん は お お し く そ び え こ こ ろ ざ し た か き を た た う 一 の び や
ひ び き な だ ひ か り を あ つ め あ ゆ む べ き み ち を て ら し て 一 ほ が ら
き た う ら の め ぐ み を う け て ふ る さ と の ひ と は や さ し く 一 き よ ら



か に の び や か に う た わ ん と も と わ れ
か に ほ が ら か に か た ら ん と も と わ れ
か に き よ ら か に ま も ら ん と も と わ れ



ら の ぼ こ う し も の せ 一 き き た
ら の ぼ き う
ら の ほ こ り

開校式及び入学式 4月9日(月)14:00~15:00 豊北・下関北高校体育館 一般席も準備しています

例年の入学式は、新入生とその保護者が出席して開催しますが、平成30年度は、「山口県立下関北高等学校開校式及び平成30年度入学式」として、豊北・響高校両校の在校生も出席して開催します。

また、式には、山口県知事 村岡嗣政様、山口県教育委員会教育長 浅原司様ほか、多数の御来賓も出席されます。

開校式・入学式に引き続き、生徒主体で校章や校歌を紹介する開校記念行事を行います。

ご来場された方々が、みなさんの姿から、未来に向けた力強さが感じられる、新しい高校の出発にふさわしい開校式・入学式、開校記念行事となるよう、先輩である皆さんが、キリッとした姿で引っ張ってください。

なお、地域の方を含め、新しい学校の誕生を広くお祝いをしていただけるよう、一般席も準備しますので、在校生の保護者の方や地域の方にもお声をかけていただければと思います。